

全建発第14～234号
平成14年11月18日

行政機関の長 殿
土木等部門の長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第470回建設技術講習会（災害復旧）開催のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約10万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

このたびの第470回建設技術講習会では、「災害復旧」をテーマに、河川、港湾、海岸、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶことを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬 具



全建発第13～319号
平成14年1月18日

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 望 月 常 好
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成14年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加者をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められます。例えば、平成13年4月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、「国、特殊法人等及び地方公共団体は、それぞれの職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び所管分野における公共工事の施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」は一層重要であると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成14年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、研修の場として活用され、多数派遣されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、貴管下の市町村も含め本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

殿



社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木道雄

第470回建設技術講習会（災害復旧）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成15年1月29日（水）～1月31日（金）、千葉市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では「河川、港湾、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶ」ことを目的としています。

なお、本講習会は国土交通省の後援をうけております。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員…… 7,600円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
非会員……………12,600円〔 “ ” 〕

③現 場 研 修 料：…………… 5,900円〔うち昼食代1,200円〕
(現場研修だけの参加はお断りしております)

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
申込金と同封されていなかったり、銀行振込の（写）が添付されていない場合は受理できません。
また、講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。

⑤申込書送付先：社団法人 全日本建設技術協会 事業課 ☎03(3585)4546
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F

⑥振込銀行口座：あさひ銀行赤坂支店 普通預金口座№665206
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会 講習会会計

お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「№470」をつけ加えて下さい。

⑦申 込 締 切 日：平成14年12月27日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。）

※取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

【返金方法】

平成15年1月17日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年1月24日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

※テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。<http://www.zenken.com/>

第470回建設技術講習会（災害復旧）日程

一河川、港湾、道路等の公共土木施設の災害復旧事業について、災害復旧の理念、災害復旧事業の制度、災害復旧のための工法や技術、申請のポイント、災害査定の際の留意事項、災害復旧事業と一体となる改良復旧事業の計画手法などについて学ぶ

聴 講……平成15年 1 月29日（水）、30日（木）
 現場研修……平成15年 1 月31日（金）
 会 場……千葉県文化会館
 〒260-8661 千葉市中央区市場町11番 2 号
 TEL 043-222-0201

1日目 1月29日（水）				
10：00	あいさつ	千葉県知事	堂 本 暁 子	
10：20	〃	千葉市長	鶴 岡 啓 一	
10：20 } 10：50	平成14年度の発生災害とその状況	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	富 田 和 久	
11：00 } 12：00	災害採択ルールについて(1)	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	富 田 和 久	
13：00 } 14：20	災害採択ルールについて(2)	国土交通省河川局防災課 総括災害査定官	富 田 和 久	
14：30 } 15：30	水産関係土木施設等災害復旧事業について	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 課長補佐（災害復旧班担当）	松 永 務	
15：40 } 16：10	【地域における技術苦労話】 利根かもめ大橋有料道路建設事業	千葉県土地開発公社 常務理事	宮 崎 明	
16：10 } 16：30 } 16：50	【現場研修事業の紹介】 一級河川大柏川災害復旧助成事業 妙典給水場建設事業	千葉県真間川改修事務所長 千葉県水道局技術部計画課 副主幹	市 東 洋 幡 谷 繁	
2日目 1月30日（木）				
9：50 } 10：50	港湾災害復旧事業の要点	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害査定官	森 利 春	
11：00 } 12：00	【特別講演】 千葉県の自然環境の特徴とその保持・ 復元	千葉県立中央博物館 生態・環境研究部長 農学博士	中 村 俊 彦	
13：00 } 14：20	災害復旧事業の実務について 災害査定の実際	国土交通省河川局防災課 災害査定官	皆 本 重 雄	
14：30 } 15：50	改良復旧事業の進め方	国土交通省河川局防災課 課長補佐	竹 内 清 文	
15：50 }	閉会のあいさつ	千葉県建設技術協会会長 （千葉県土木部理事）	小 林 喜 一	
地域の独自調査				
【現場研修】 3日目 1月30日（金）				

JR 京葉線千葉みなと駅前（9：00）出発

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| → 幕張新都心（下車説明） | → 千葉港海岸環境整備事業（下車説明） |
| → 昼食（12：00～13：00 船橋市内） | → 一級河川大柏川災害復旧助成事業（車中見学） |
| → 妙典給水場建設事業 | → JR 京葉線舞浜駅（15：30）着後解散 |

※上記講習会日程は都合により、講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第470回建設技術講習会の主な立ち寄り先

1. 幕張新都心……………千葉市美浜区中瀬

「幕張新都心」は、幕張メッセを中核に未来型の国際業務都市として着実に整備されてきており、今日では、日々約9万人の人々が活動する「職・住・学・遊」の複合機能を備えた街となっている。この都市のはじまりは、産業・文化のさらなる飛躍をめざし、千葉県が推進する「千葉新産業三角構想プロジェクト（幕張新都心、かずさアカデミアパーク、成田国際空港都市）」の一環としてスタートした。「幕張新都心」は、その中でも最大級の規模を持ち、いち早く稼働した基幹プロジェクト。

東京都心と成田空港のいずれにも近いという地の利を活かし、先端技術と文化が調和する未来型国際都市をめざすとともに、首都機能の一部を分担する業務都市として首都圏の重要な役割を担っている。

2. 千葉港海岸環境整備事業……………船橋市浜町2丁目

千葉港は、袖ヶ浦市、市原市、千葉市、習志野市、船橋市、市川市を背後圏とする特定重要港湾。海岸環境整備事業の対象地域である船橋市湊町一帯は、市内の臨海部にあって数少ない非工業系の土地利用がなされており、住宅用地や郊外型ショッピングセンター「ららぽーと」、オートレース場等日常的に多数の人々が集散する地域である。

計画対象地の既設防潮堤は、天端が背後の地盤より2.5mも高く、付近の住宅・商業地区からは海が全く見えない状況にあり、人と港湾水域とが隔絶されている。さらに、当該地区は、地震時において地盤の液状化が発生する可能性があるが、既設防潮堤では対応が難しいため、耐震性の高い防潮堤の建設が必要となっている。

構造設計のポイント

- ・液状化防止対策
- ・前面鋼矢板構造上の地盤強度の確保

今回の視察では、同地域を概観しながら、同エリアに、緑地や遊歩道等による海辺の憩いの場の創出として建設された「船橋港親水公園」を視察する。

3. 妙典給水場建設事業（千葉県水道局）……………市川市妙典3丁目 平成10年度全建賞

全国でも初めて地下式の配水池上部に小学校を建設した新しい形態の給水場とし、平成11年6月15日に通水式を行い給水を開始したものである。

- ・建設場所…妙典土地区画整理地内
- ・敷地面積…1.6㍓（内小学校用地1.2㍓）
- ・工事期間…平成6年3月30日～平成11年3月18日
- ・事業費……………434億円
- ・計画地盤高…ポンプ棟場内（YP+3.75m）
小学校（YP+7.4m）

この給水場は、当局の北船橋給水場等から送水された水道水をいったん貯留する配水池と貯留した水道水を需要に応じ、給水するためのポンプ棟で構成されている。

第470回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

- ① 宿 泊 料 金：宿泊希望者には千葉市内のホテルを別記のとおり斡旋いたします。
斡旋する宿舎のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
- ② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
- ③ 宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
- ④ 送 金 先：㈱日本旅行 赤坂海外旅行支店 ☎03(3586)4631 FAX03(3586)4735
銀行口座 みずほ銀行赤坂支店 普通預金口座№1879917
〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-28（赤坂一丁目森ビル3F）
お振込の際は、振込名義の前に「№470」とつけ加えて下さい。

※取り消し・返金について

平成15年1月17日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
// 1月24日(金)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。

平成15年1月28日(火)、29日(水)、30日(木)（洋室：1泊朝食付、サービス料込・税金込）

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
千葉ワシントンホテル	千葉市中央区富士見1-13-1 TEL：043-222-4511	シングル	80名	¥8,500
ホテルサンガーデン千葉	千葉市中央区中央1-11-1 TEL：043-224-1131		50名	¥8,500
バーディホテル千葉	千葉市中央区新千葉1-6-5 TEL：043-248-5551		100名	¥6,800
東横イン千葉ポートスクエア	千葉市中央区問屋町1-45 TEL：043-245-6777		35名	¥6,500
ホテルニューツカモト	千葉市中央区千葉港7-1 TEL：043-243-1111		40名	¥5,500
宿泊斡旋人数合計			305名	

※朝食なしをご希望の方には、各斡旋宿舎において対応いたします。

・宿舎割りの決定は本協会で行いますので予めご了承願います。

・宿舎が決定次第ご通知いたします。（なお、朝食が不要な場合は、お申し込みの後お送りする「宿泊案内」をご覧ください。）

第470回建設技術講習会の会場・宿舎案内図



1月31日(金)現場研修集合場所

■千葉都市モノレール〔JR千葉駅より〕
乗車4分
千葉みなと駅下車
徒歩3分 片道190円

■会場までの交通案内

〔JR千葉駅前より〕

〔JR本千葉駅より〕

〔京成千葉中央駅より〕



■千葉都市モノレール乗車約6分

県庁前駅下車徒歩約7分 片道190円

■京成バス⑦大学病院ゆき乗車約10分

郷土館下車徒歩約2分 片道200円

徒歩約10分

徒歩約20分

第470回建設技術講習会（災害復旧）申込書

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約日		
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に○印を記入して下さい		
							1 ／ 28	1 ／ 29	1 ／ 30
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料							↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※	宿泊予約金	
正会員・特別会員・賛助会員		名× 7,600円＝	円			泊×4,000円			
" (昼食不要)		名× 6,000円＝	円						
非 会 員		名×12,600円＝	円						
" (昼食不要)		名×11,000円＝	円						
現場研修料		名× 5,900円＝	円						
計			円			計		円	

↓全建に振込

↓日本旅行に振込

- 【申込にあたっての注意事項】
- ①宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
 - ②申込金を銀行送金される場合、銀行振込の（写）を申込書に必ず添付して下さい。
 - ③申込の締め切り日は平成14年12月27日(金)です。
 - ④幹旋します宿舎は1泊朝食付き（千葉市内）です。
 - ⑤特別会員・賛助会員の方は正会員（聴講者別欄）の枠内に○印を記入して下さい。

（昼食について）

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

※現場研修の昼食について：

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。